

# 精神保健

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 小山 宏子

■使用テキスト 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会(編集)  
『新版 精神保健福祉士養成セミナー第2巻 精神保健学 精神保健の課題と支援 第6版』  
へるす出版 2017

◆参考テキスト

## 講義概要・一般目標

「精神保健」とは単に精神疾患の予防や治療にとどまらず、心の健康の保持、向上をめざした実践を行うことである。精神保健は非常に広い範囲、領域をもつため、時間的、空間的なわけ方をする。時間的な分け方とは乳幼児から老年期までのライフサイクルと関連させて考えることである。空間的なわけ方とは家庭・学校・職場・地域等の「場所」との関連で考えることである。この講義では、「精神保健」を時間的、空間的両方の考え方から学習する。また諸外国の精神保健の歴史と現状についても理解を深める。学習をとおして社会福祉を基盤とする専門職（社会福祉士・精神保健福祉士）としてクライアント主体の支援をするために学んでおくべき精神保健の広範な知識を修得し、あわせて自分自身の心の健康についても考察を深めることを目的とする。

## 到達目標

- 1) 家庭・学校・職場・地域等における心の健康問題に関心を持ち、必要な時は適切なアドバイスができるようになる
- 2) 自分自身の心の状態に気づき、それにあわせて対処できるようになる

## 評価方法

科目単位認定試験により評価。

## 学習指導

### 第1章 精神保健に関する基本的理解

#### この章のポイント

この章では、現代社会と精神保健について現状を把握した上で精神保健とは何か、精神保健の意義と課題について概要を学ぶことで、精神保健についての基本的理解を深める。

### 第2章 ライフサイクルにおける精神保健

#### この章のポイント

この章ではライフサイクルを1. 乳児期 2. 学童期 3. 思春期 4. 青年期 5. 成人期 6. 老年期に分けて考察する。

各時期の特徴・発達課題を基本的に理解したうえで、現在の生活環境の変化についても概観する。それを踏まえて各時期の精神保健上の問題と、精神保健の重要性と課題について学ぶ。

### 第3章 精神保健における個別課題への取り組み

#### この章のポイント

個別の課題ごとに、取り組みの現状、個別課題に関連する問題と対策、今後の課題等について学ぶ。  
個別課題は以下の1～8について学習する。

1. 精神障害対策
2. 認知症対策
3. アルコール関連問題対策
4. 薬物乱用防止対策
5. 思春期・青年期精神保健対策
6. 地域精神保健対策
7. 司法精神保健福祉対策
8. 緩和ケアと精神保健

### 第4章 精神保健活動の実際

#### この章のポイント

児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、中高年の自殺等は家庭という共通の基盤から発している問題ともいえる。近年家庭と学校・地域・職場の精神保健の連携の必要性が高まっている。第1節では少子高齢化・人口減少社会の中での家庭の子育て環境をとおして、DV・児童虐待の現状と課題について学習する。第2節では学校における精神保健として、不登校、校内暴力、いじめ、ひきこもり、非行等学校をめぐる問題について考える。第3節では職場における精神保健問題とその対策について学習する。第4節では地域における精神保健として自殺や大規模災害などについて考える。

### 第5章 地域精神保健の現状と課題

#### この章のポイント

1章では入院医療中心から地域ケア中心へ移行してきた精神障害者に対する地域精神保健施策の概要を学ぶ。2章では地域保健・地域精神保健に係る関係法規・関係施策として「保健医療」「福祉」「教育」「労働」「社会全般」にわけて学習する。3章では近年重要とされている精神保健福祉に関する調査研究の歴史、基本、方法を学ぶ。

### 第6章 メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割

#### この章のポイント

精神保健における精神保健福祉士の役割は重要になってきている。この章では認知症領域、嗜癖関連問題、自殺対策、司法領域、産業保健領域、スクールソーシャルワーク領域など各領域における精神保健福祉士の役割について理解を深める。

### 第7章 精神保健にかかわる専門職種の役割と連携

#### この章のポイント

第1節では、国および行政機関として市町村、都道府県、保健所の役割について、第2節では各種行政機関として保健所、精神保健福祉センター、市町村保健センター等の役割、第3節では保健専門職の役割について、それぞれ関連する法律にもとづいて理解を深める。

### 第8章 世界の精神保健

#### この章のポイント

精神疾患は本人、家族のみでなく社会にも多大な影響を与える。また精神疾患は各地に一定の割合で存在する。その頻度は社会、医療制度、文化などの影響を受ける。この章では、諸外国における精神疾患の研究結果をもとに諸外国の精神保健医療の実情と課題について理解することで、日本の精神保健の現状と課題について考える。